

13:30 開会あいさつ  
主催者あいさつ

第一部 基調講演

講師 関西大学 経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏  
テーマ「社会インフラとしての鉄道：新たな時代における役割と課題」

講師 富山市 前市長 森 雅志 氏  
テーマ「交通政策と都市政策の融合」

【ビデオメッセージ】 滋賀県知事 三日月 大造 氏

第二部 JR連合からの「提言」提起

「次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言」  
～「ONE TEAM」となり誇りを持って社会に貢献し続けるために～

第三部 パネルディスカッション

コーディネーター 関西大学 経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏

パネリスト 富山市 前市長 森 雅志 氏

西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)  
代表取締役副社長 兼 執行役員 倉坂 昇治 氏

1985年 日本国有鉄道入社  
1987年 国鉄改革に伴いJR西日本入社  
2009年 執行役員人事部長 その後、  
大阪支社長、広報部長、福知山線列車事故ご被害者対応本部長、  
総務部長、総合企画本部長等を歴任  
2021年 代表取締役副社長

日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 会長 荻山 市朗

17:30 閉会  
閉会あいさつ

新たな時代における  
鉄道の発展と  
JR産業の  
持続的成長にむけて

2022年10月6日(木) 13:30～17:30  
ホテルメトロポリタン 富士の間

第一部：基調講演  
第二部：JR連合からの「提言」提起  
第三部：パネルディスカッション

## はじめに

1992年5月18日のJR連合結成から30周年を迎えました。先輩方のご尽力ならびにお支えいただいた皆様に感謝を申し上げます。

JR連合結成の5年前、1987年4月1日に戦後最大の行政改革とされる国鉄改革によってJRが誕生しました。国鉄改革の目的は、JR各社が経営自主性を確保し、民の力を活かして鉄道を再生することにあります。国民や関係者のご理解とお支えのもと、JRグループの労使が努力を重ね、一定の評価をしていただける成果を取めてくることができたと考えます。

一方、少子高齢化と人口減少、高速道路網の整備など、JR産業を取り巻く環境は急速かつ大きく変化し、とくに鉄道の特性を発揮できない地方路線などの分野は厳しい経営状況に陥っています。JR北海道・JR四国・JR貨物は経営自立の見通しが立っていません。また、2005年4月25日のJR福知山線列車事故の悲劇をはじめ、種々の不安全事故を発生させており、私たちはこうした事故等の反省と教訓を強く胸に刻み、安全最優先の取り組みを不断に積み重ねていかなければなりません。

JRは発足から35年6カ月が経過し、あと2年4カ月で国鉄時代と同じ期間に達します。コロナ禍によって社会の変化が加速し、JR労使は国鉄改革に並ぶ大転換期を迎えています。今後30年を展望すれば、JR産業が安全を基礎に持続的に成長し、組合員が安心して意欲高く働き続けられる環境を築くためには、労使をあげて社会の変化に対応し、不断に変革を進めていかなければなりません。

そうした課題認識のもと、本日、「次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言～『ONE TEAM』となり誇りを持って社会に貢献し続けるために～」と題する政策提言を発信します。次なる30年に向け求められることとして、民の力を活かして成長分野をさらに進化させ、官民のパートナーシップを深めつつ公共的な使命を果たし続ける方策や、JR産業がSDGsや脱炭素化の達成および持続可能な社会の形成に貢献していくことの重要性や役割等を内外へ提起するとともに、基盤となる人財が変革を推進するために必要な環境づくり等も訴えるものです。

JR連合は、JR産業の持続的な成長に向けて、責任ある運動を推進していく決意です。経営側には、様々な機会や手法を通じてJR各社・グループ間の連携を深めるとともに、JR連合および加盟単組との信頼関係を一層強固なものにさせていただくよう強く求めます。

本シンポジウムでは、JR連合結成30周年の節目にあたり、以上の課題認識に基づき「新たな時代における鉄道の発展とJR産業の持続的成長にむけて」をテーマに議論し、内外に発信する有意義な機会にしたいと考えます。皆様の熱心なご参加をお願い申し上げます。

日本鉄道労働組合連合会（JR連合）  
会 長 荻 山 市 朗

## 講師略歴

### 基調講演Ⅰ 関西大学 経済学部 教授 宇都宮 浄人氏

1960年 兵庫県西宮市生まれ  
水戸第一高校、京都大学経済学部卒業  
1984年 日本銀行入行  
2001年 一橋大学経済研究所専任講師  
2003年 日本銀行調査統計局物価統計課長  
2006～07年 東京大学経済学部非常勤講師兼任  
2008～09年 日本銀行金融研究所歴史研究課長  
2010年 関西大学経済学部教授  
2011年 ウィーン工科大学交通研究所客員教授兼任  
2017～18年

#### 主な著書

『地域公共交通の統合的政策』（東洋経済新報社、日本交通学会賞・国際交通安全学会賞受賞）、『地域再生の戦略－「交通まちづくり」というアプローチ』（ちくま新書、第41回交通図書賞受賞）、『鉄道復権』（新潮選書、第38回交通図書賞受賞）、『路面電車ルネッサンス』（新潮新書、第29回交通図書賞受賞）。共著に『フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか』（学芸出版社）、『LRT』（成山堂）、『世界のLRT』（JTBパブリッシング）、『経済統計の活用と論点』（東洋経済新報社）など。

### 基調講演Ⅱ 富山市 前市長 森 雅志氏

1952年 富山市生まれ  
富山中部高校・中央大学法学部卒  
1977年 司法書士・行政書士事務所を開設  
1995年 富山県議会議員に初当選  
1999年 再選  
2002年 富山市長に当選  
2005年 (市町村合併で発足した)新・富山市長に当選  
2020年 富山大学客員教授 非常勤講師(工学部、都市デザイン学部担当)  
京都大学客員教授 非常勤講師(工学部)  
2021年 富山市長4期目任期満了退任  
2022年 国土交通省「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」委員

#### 主な論文

「地方自治体による鉄軌道政策の成果と課題に関する研究」(2022年「実践政策学」)